

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年01月26日

計画の名称	奄美地域における道路ネットワークの形成による災害に強い道づくり（防災・安全）															
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度（5年間）											重点配分対象の該当		○		
交付対象	鹿児島県															
計画の目標	国土強靱化計画に基づき、線形不良や幅員狭小箇所の改良を推進することにより、奄美地域における災害時の円滑かつ確実な物資の輸送等を支える道路交通網を形成する。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		6,584	A	6,584	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6		R10
1	道路整備により、災害時における物資の輸送や避難が円滑に行えるようになり、総走行時間を14.3時間短縮する			
	走行時間短縮効果 {（整備延長／整備前速度）－（整備延長／設計速度）} ×（24時間交通量）	0時間・台／日	時間・台／日	14時間・台／日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
「鹿児島県国土強靱化計画」に掲載……A01-001, A01-002, A01-003												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）名瀬瀬戸内線・伊 目工区	バイパス L=1.4km	瀬戸内町	■	■	■	■	■	2,791		－
	A01-002	道路	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）名瀬瀬戸内線・篠 川工区	現道拡幅 L=0.7km	瀬戸内町	■	■	■	■	■	1,600	0.36	－
		集落孤立化の防止																	
	A01-003	道路	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）名瀬瀬戸内線・久 根津 2 工区	現道拡幅 L=0.3km	瀬戸内町	■	■	■	■	■	500		－
	A01-004	道路	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）伊仙天城線・真瀬 名工区	現道拡幅 L=0.9km	天城町		■	■	■	■	838		－
		令和 7 年度に「奄美地域における道路ネットワークの形成による安心安全で魅力ある「結い」の島づくり③」から移行																	
	A01-005	道路	奄美	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）伊仙亀津徳之島空 港線・東伊仙工区	現道拡幅 L=0.6km	伊仙町		■	■	■	■	855		－
		令和 7 年度に「奄美地域における道路ネットワークの形成による安心安全で魅力ある「結い」の島づくり③」から移行																	
											小計						6,584		
											合計						6,584		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	181	239			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	181	239			
前年度からの繰越額 (d)	0	153			
支払済額 (e)	28	285			
翌年度繰越額 (f)	153	107			
うち未契約繰越額(g)	147	12			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	81.21	3.06			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業計画の再検討のため（補正予算含む）				

事前評価チェックシート

計画の名称： 奄美地域における道路ネットワークの形成による災害に強い道づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画と合致している	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている	○
I. 目標の妥当性	
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性	
⑦十分な事業効果が見込める	○
II. 計画の効果・効率性	
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い	○
III. 計画の実現可能性	
⑩地域の協力が見込める	○
III. 計画の実現可能性	
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている	○